

事業所名

児童発達支援センター すびか

支援プログラム (参考様式)

作成日

令和7年

2月

7日

法人(事業所)理念		人としての尊厳を重んじる姿勢を持ちながら、障がいや発達の違いにかかわらず、子どもたちそれぞれの育ちを支援する。その人らしい人生を、家庭で、地域で送るための支援を公益性と専門性をもって提供していく。						
支援方針		一人ひとりの育ちを大事にし、自分の思いを肯定的に受け止められ安心して過ごす中で情緒の安定を図りながら、集団でのあそびを中心に発達段階に基づいた支援を行います。乳幼児期に育んでおきたい『体づくりや基本的な生活習慣』、『自分でできる力』、『好きなあそびを見つけ、楽しみを見出す力』、『人と関わる力』を身に付けることを目指し、将来豊かな社会生活を送る基礎作りとなる発達支援を行います。管理栄養士、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理担当職員等のスタッフや音楽療法士等の多職種が発達支援に携わります。						
営業時間		8時	30分	17時	15分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<p>毎日の登園を通し、よくあそび・よく食ベ・よく眠る生活リズムの形成と丈夫な身体づくりに取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 登園時の体温測定や日々の健康観察に合わせて、看護師と連携したきめ細かな観察を行い、いつもと違う心身の異変に気付けるようにしていきます。(健康状態の把握) 食事：摂食・嚥下や偏食の状況に合わせた対応を図り、安全に安心して食べる経験を重ねていきます。(基本的生活スキルの獲得) 排泄、着脱：児童発達支援計画書に基づいた個人目標に合わせて毎日継続した取り組みを行います。 医療的ケア児の安全な受入のため、主治医からの指示書を基に対応します。個別の実施手順書の作成や緊急時対応について全職員で情報共有をして対応を行います。 						
	運動・感覚	<p>様々なあそび(うんどうあそび、ゆさぶりあそびや散歩、感覚あそび等)を通し、姿勢と運動・動作の基本的技能の向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 筋力の維持・強化に結びつく活動内容や、園児に合わせた座位保持椅子や椅子【高さ調整等】、道具等を使用していきます。(姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用) JSI-R(感覚機能チェックリスト)を活用し、感覚面での状況把握を図り、感覚特性に合わせた対応を行います。(保有する感覚の活用) 						
	認知・行動	<p>子ども1人1人の認知・行動特性(五感からの情報認知、空間知覚、対人関係特性、言語理解等)に合わせた環境や伝え方の工夫を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> 感覚、認知特性への理解を図り、日課の視覚化や活動場面における部分参加など分かりやすく、過ごしやすい環境面への配慮を行います。(認知の特性についての理解と対応) 1日の流れを分かりやすく提示し、先の見通しを持ち安定した1日を過ごせる環境整備や激しいこだわりや自傷等への個別対応を行います。(行動障害への予防及び対応) 						
	言語コミュニケーション	<p>自分の思いを受け止められ、代弁して返される丁寧なやりとりを重ねていく中で、相手に伝えたい思いを育て具体的なやりとりの手段を広げていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 園児1人1人ができる表出方法【言葉、発声、身振り、視線、表情等】を活かして、自分の思いを相手に伝え、伝わった満足感、達成感を感じられるようにします。(コミュニケーションの基礎的能力の向上) 職員との応答的な関わりの中でことばの土台作りをしたり、具体的な事物や体験と、言葉の意味を結びつけるなど分かることばや伝えたい気持ちを育てていきます。(言語の受容と表出、形成と活用) 						
	人間関係社会性	<p>人を信頼し、自分の思いを伝える力を身につけられるように、職員から友達と対象を広げていきます。小集団の中で関わり方や気持ちを調整する経験を重ねます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の思いを肯定的に受け止められる経験を通して、環境や人に対する安心感を育み自己肯定感を高めていきます。(アタッチメント【愛着】の形成と安定) 好きなあそびが十分にできる集団活動を中心におきながら、職員が介在し集団で過ごす楽しさを重ね、他者への意識や集団活動のルール、関わり方を身につけていきます。(遊びを通じた社会性の発達、仲間づくりと集団への参加) 自分の気持ちや感情の変化を職員に共感、言語化してもらう経験を通して、感情に気付いたり気持ちの調整を促します。(自己の理解と行動の調整) 						
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> 親子保育の実施(毎週金曜日) 先輩保護者の話を聞く会の実施(6月実施) 保護者同士の交流の機会提供及び給食試食会の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 行事における兄弟児の参加 研修会の案内 	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> 就学説明会の実施(5月実施) 就学相談、教育相談への案内 地域の保育園との交流保育の実施、児童館利用体験 進路選択についての本人や家族への相談援助、移行準備 				
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> 宮崎市自立支援協議会子ども部会への参加 保健センター実施の乳幼児健診への参加 保育所等訪問支援の実施 関係機関との連携 (児童発達事業所、相談支援センター、学校、保健所、行政等) 地域関係者との合同企画(勤労感謝の日に園児から保護者プレゼント) 	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 内部研修(発達支援センターセラピストや外部講師による研修) 外部研修(県社会福祉研修センターの階層別研修への参加) 虐待防止・身体拘束適正化研修 ハラスメント研修 BCP(自然災害、感染症)研修 発達支援に関する研修 緊急時対応訓練(地震津波、火災、アレルギー、不審者対応等) 					
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> 行事(遠足【5月、3月】、夏祭り、運動会、お楽しみ会、卒園式) 食育活動(カレー大会、グループごとのおやつ作り) 診療部門と連携してのOT室あそび 季節の行事(こいのぼり、七夕、節分、ひなまつり、夏季プール) 外部音楽療法士による音あそび 特別外出(令和6年度実績：動物園、博物館、公共交通期間を利用したの宮崎空港見学など) 							